



市長記者会見

期 日 令和4年10月28日（金）

時 間 午前10時～

場 所 対策室

発表内容

- 1 乳幼児への新型コロナワクチン接種の開始について
(保健衛生部)
- 2 「G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議」の開催周知について
(2023年G7サミット推進課)
- 3 マイナンバーカード普及のさらなる取り組みについて
(市民生活課)
- 4 「地域の祭り・イベント等用具整備事業費補助」の実施について
(市民協働課)
- 5 ミズベリング信濃川やすらぎ提における次期運営事業者の募集について
(まちづくり推進課)
- 6 「フードメッセ in にいがた 2022」の開催について
(食と花の推進課)



乳幼児（6か月から4歳）への新型コロナワクチン接種の開始について

生後6か月から4歳の乳幼児を対象にした接種を下記のとおり開始します。

記

1 接種対象者と接種方法

新潟市に住民票があり、1回目の接種時において6か月以上4歳以下の方を対象に3回接種を行う。

※3回の接種の途中で5歳になった場合も、3回目まで同じ乳幼児用ワクチンを接種

2 使用するワクチン

ファイザー社製の乳幼児用ワクチン

※1回目接種後、3週間の間隔をあけて2回目を受け、2回目接種後、8週間あけて3回目を接種



3 接種券について

- ・11月10日（木）に生後6か月以上4歳以下の方へ接種券を一斉発送（発送通数：約25,000通）
- ・以降は生後6か月を迎える日に発送
- ・5歳の誕生日を迎えた後に1回目の接種を受ける場合は、5歳の誕生日後に送付される小児（5～11歳）用の接種券を使用して小児接種を受けてください。



市HP(乳幼児接種)

4 接種場所について

市内31の医療機関（10月26日時点）で接種可能です。接種を希望する方は、かかりつけ医またはかかりつけの方以外も対応可能な医療機関にご相談ください。詳しくはホームページをご確認ください。

◎本件に関するお問い合わせは午後5時30分までをお願いします。

【問い合わせ先】

新潟市保健所 コロナワクチン接種推進担当課長 明間
電話：025-212-8173（直通）

「G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議」の 開催周知について

標記会議の開催日程が、来年5月11日から13日の3日間に決定しました。

これを受け、新潟県・新潟市では、会議の開催周知のため、横断幕やポスターといった広報物を作成しました。

記

■横断幕の設置場所

- ・市役所本館3階
- ・ルフル広場前の歩道
- ・流作場五差路の歩道橋

※いずれも11月9日設置予定

■ポスターの配布・掲出について

11月以降、新潟県内各地の公共施設・商業施設等に順次配布・掲出します。

※デザインは別紙参照

【問い合わせ】

新潟市政策企画部 2023年G7サミット推進課

課長 山本

電話：025-226-2142

メール：2023summit@city.niigata.lg.jp



G7 新潟財務大臣・ 中央銀行総裁会議

2023年5月11日(木)~13日(土)

朱鷺メッセ(予定)



【お問い合わせ】

新潟市政策企画部2023年G7サミット推進課
〒951-8554 新潟市中央区古町通7番町1010番地
TEL:025-226-2156



マイナンバーカード普及のさらなる取り組みについて

○趣 旨 マイナポイント第2弾の対象となるマイナンバーカード申請期限に向けて、カードの普及につながる施策を実施します。

○内 容

1. 臨時申請窓口の開設

・ 開設場所 市役所本館 1階市民ロビー

・ 開設期間 令和4年11月1日～令和5年2月28日まで

※下記を除く

令和4年 11月12日(土)13日(日)、26日(土)27日(日)、
 12月17日(土)18日(日)、24日(土)25日(日)

令和5年 1月1日～1月3日

・ 受付時間 午前9:30～ 午後2:00

※令和4年12月31日は午前のみ開設

2. マイナンバーカード所有者及び申請者への施設の割引

キャンペーン

・ 実施期間 令和4年11月1日～令和5年3月31日

・ 対象施設 別紙のとおり

お問い合わせ先
新潟市市民生活課 担当：金子
電話025-226-1009(直通)

特典付与対象施設・特典内容

(単位：円)

No.	施設名	開始日	特典内容
1	新潟市水族館	R4.11.1	入館料 2割引 一般 1500 ⇒ 1200 小中学生 600 ⇒ 480 幼児 200 ⇒ 160
2	新潟市會津八一記念館	R4.11.1	企画展観覧料 2割引 一般 500 ⇒ 400 大学生 300 ⇒ 240 高校生 200 ⇒ 160 小中学生 100 ⇒ 80
3	新潟市マンガ・アニメ情報館	R4.11.1	常設展観覧料 2割引 一般 200 ⇒ 160 中高年生 100 ⇒ 80 小学生 50 ⇒ 40
4	新潟市歴史博物館	R4.11.1	常設展観覧料 2割引 大人 300 ⇒ 240 高校・大学生 200 ⇒ 160 小中学生 100 ⇒ 80
5	新潟市文化財 旧小澤家住宅	R4.11.1	常設展観覧料 2割引 大人 200 ⇒ 160 小中学生 100 ⇒ 80
6	新潟市新津鉄道資料館	R4.11.1	常設展観覧料 2割引 大人 300 ⇒ 240 高校・大学生 200 ⇒ 160 小中学生 100 ⇒ 80
7	新潟市美術館	R4.11.1	ポストカードを贈呈 (数量限定)
8	新潟市新津美術館	R4.11.1	ポストカードを贈呈 (数量限定)
9	新潟市旧齋藤家別邸	R4.12.1	観覧料 2割引 一般 300 ⇒ 240 小中学生 100 ⇒ 80
10	しろね大凧と歴史の館	R4.11.1	観覧料 2割引 一般 400 ⇒ 320 小中高 200 ⇒ 160
11	旧笹川家住宅	R4.11.1	入館料 2割引 高校生以上 500 ⇒ 400 小中学生 300 ⇒ 240
12	潟東樋口記念美術館・潟東歴史民俗資料館	R4.11.1	入館料 団体料金適用 一般 500 ⇒ 400 小中学生 300 ⇒ 200
13	中之口先人館	R4.11.1	入館料 団体料金適用 大人 200 ⇒ 150 高校生 100 ⇒ 50
14	澤将監の館	R4.11.1	入館料 団体料金適用 大人 300 ⇒ 200 高校生 150 ⇒ 100
15	いわむろや	R4.11.1	購買者にポストカードを贈呈 (数量限定)
16	巻農村改善センター	R4.11.1	クリアファイルを贈呈 (数量限定)
17	岩室農村改善センター	R4.11.1	クリアファイルを贈呈 (数量限定)

「地域の祭り・イベント等用具整備事業費補助」の実施について

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の祭りやイベント等の中止や縮小が余儀なくされており、次世代への継承や取り組み自体の継続ができなくなることが懸念されることから、再開の機運を醸成し、再開時において地域活動のさらなる活性化を図るため、地域の祭り・イベントに必要な用具の整備に要する経費（購入及び修繕費用等）の一部を補助します。

記

○事業内容

申請できる団体	非営利団体（地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、実行委員会組織、NPOなど）
補助対象	令和4年4月1日～令和6年3月31日の間に整備されたもの ※年度をまたいで整備した場合も申請が可能です。
補助額	補助対象経費の5分の4以内（下限5万円～上限100万円）
申請回数の制限	各団体1回のみ
申請方法等	令和4年11月1日より区役所（地域総務課・地域課）で受付開始 ※申請書は区役所（地域総務課・地域課）の窓口で配布します。 そのほかホームページからダウンロードができます。 ※予算額に達した場合、受付を終了します。

【問い合わせ先】

新潟市市民生活部市民協働課 藤村 電話 025-226-1098（直通）

ポイント①
〈申請団体〉

コミュニティ協議会、
自治会ほか、実行委員
会組織、NPO など

地域活動団体

ポイント②
〈補助率〉

補助対象経費
の
5分の4

5つの応援ポイント♪



地域の祭り・イベント等の 用具整備を応援します!!

ポイント③
〈補助金上限額・下限額〉

用具購入費・修繕費

上限額 100万円
下限額 5万円

ポイント④
〈補助対象の事業期間〉

令和4年度
および
令和5年度

ポイント⑤
〈さかのぼり申請〉

令和4年度限定

4月1日以降に
購入・修繕した
事業が対象

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や縮小を余儀なくされている既存の地域の祭りやイベントの再開に向けて、市では備品の購入や修繕の費用を補助します。
※ 詳しくは別冊「申請の手引き」をご覧ください。



裏面をご覧ください。

1 申請できる団体：対象・非営利団体

コミュニティ協議会/ 自治会・町内会 / 実行委員会組織、NPO など

2 補助内容：既存の祭り・イベント等の用具の購入費・修繕費

＜補助対象の経費（例）＞

【祭り】楽器（太鼓）、衣装（法被）、山車、屋台、装飾品（のぼり旗）ほか

【イベント】運営用品（競技用品、長机、テント、音響設備）ほか

3 申請回数

1団体につき1回 時期をずらして備品を購入する場合の申請方法はお問い合わせください。

4 事務手続きの流れ

① 区地域課・地域総務課窓口へ申請書類の提出



② 書類審査



③ 補助金交付（不交付）決定通知

◆事業は補助金交付決定通知を受けてから実施してください。交付決定前の事業経費は補助の対象となりません。



④ 整備・修繕事業の実施

◆必要に応じて概算払いができます。



⑤ 事業報告書の提出

◆事業完了後1か月以内に対象経費の領収書等と備品の写真を併せて提出してください。



⑥ 補助金確定通知書及び補助金交付

5 その他

◆ 補助対象外 となる事業

- ・特定の個人や事業者、政党、宗教を利することを目的とした事業などは対象外
- ・新規の祭り、イベント等は対象外 ・消耗品費は対象外

◆ 申請は、月ごとに月締め処理とさせていただきます。

◆ 全市での申請総額が事業予算総額に達した場合、受付を終了します。

6 「申請の手引き」および「申請書類等」の入手先

各区役所の地域課・地域総務課および市民生活部市民協働課で配布しています。
また、新潟市のホームページからもダウンロードできます。

[トップページ](#) > [くらし・手続き](#) > [市民活動・市政参加](#) > [市民公益活動](#) > [地域の祭り・イベント等用具整備事業費補助](#)



＜申請について＞

○各区役所地域総務課（東・中央・西は地域課）

＜制度について＞

○新潟市市民生活部 市民協働課

電話 025-226-1105 FAX 025-228-2230

令和4年10月28日
新潟市記者発表資料

ミズベリング信濃川やすらぎ堤における次期運営事業者の募集について

○次期運営(マネジメント)事業者の募集について

概要：まちなかの賑わい創出と持続可能なまちづくりへの寄与を目的に、信濃川やすらぎ堤において、民間営利活動を含めた利活用を推進する事業者を募集します。

事業期間：3年間（令和5年4月1日（予定）から令和8年3月31日まで）
（運営状況により最大2年間の延長が可能）

募集内容：賑わい創出活動の実施（自由提案）
例：飲食・物販の出店、誘致、イベントの開催など

参加申込〆切：令和4年11月30日（水）まで。後日提案書の提出が必要です。

今回募集の特徴：これまでは事業区域全体を対象に事業者を1者募集していましたが、今回から募集区域を右岸と左岸で分け、それぞれで事業者を募集します。（1者が両岸応募することも可能）

【参考】令和4年度のミズベリング信濃川やすらぎ堤

○実施概要

- ・水辺空間の更なる利活用と賑わい創出を目的として、信濃川やすらぎ堤において、飲食出店やイベント開催を実施しました。
- ・株式会社スノーピークが区域全体のマネジメントを担い、やすらぎ堤や萬代橋の魅力ある景観に配慮しながら、統一感を持った設えで事業を展開しました。

主催：株式会社スノーピーク、新潟市（共同主催）

○開催報告（飲食等出店）

事業区域：信濃川やすらぎ堤（八千代橋から萬代橋の間）

実施期間：令和4年6月25日（土）から9月25日（日）まで

出店数：右岸 6店、左岸 2店

来場者：約 36,600人

実施要領など詳細はこちら →



お問い合わせ先

新潟市都市政策部まちづくり推進課

担当：樋口、樋浦、岡

電話：025-226-2700（直通）



ミズベリング信濃川やすらぎ堤 運営事業者を募集します！

新潟都心の中心部に位置する **信濃川やすらぎ堤**
都市と自然が調和したこの場所で、
みなさまのスキル、アイデアを発揮してみませんか？



事業期間

3年間

〔令和5年4月1日から令和8年3月31日まで〕
〔運営状況により最大2年間の延長が可能〕

募集内容

賑わい創出活動の実施（自由提案）

例：飲食や物販の出店、誘致、イベントの開催など

事業区域（右岸・左岸から選択）



応募の流れ

- | | |
|-----------|---------------------|
| ①募集開始 | 令和4年10月28日 |
| ②参加申請書の提出 | 令和4年11月30日 17:00 まで |
| ③提案書の提出 | 令和4年12月27日 17:00 まで |
| ④応募者プレゼン | 令和5年1月上旬（別途通知） |
| ⑤結果通知 | 令和5年1月下旬（予定） |



募集要領など詳しくは新潟市HPをご覧ください



問合せ 新潟市都市政策部まちづくり推進課

TEL 025-226-2700（平日 8:30～17:15）

MAIL machisui@city.niigata.lg.jp



令和 4 年 10 月 28 日
新潟市記者発表資料

第 14 回 食の国際総合見本市「フードメッセ in にいがた 2022」の開催について

- 趣 旨** 新潟を基点にした食の見本市を開催し、食関連事業者の販路拡大や新たなビジネスチャンスを創出する。
- 会 期** 令和 4 年 11 月 9 日(水)～11 日(金)
午前 10 時～午後 5 時（最終日は午後 4 時）
※初日（午前 9 時 45 分～）オープニングセレモニー
- 会 場** 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター「展示ホール」
- 対 象** 食や流通関連のビジネスマンや事業者
※HPにて事前登録が必要
(一般の方の来場はできません)
- 出展者数** 403事業者（376小間）※10月28日現在
前回比 +79 事業者
(県内出展者 201 者 県外出展者 202 者)
(食品・食材 265 者 機器・器具 97 者 容器・包装、その他 41 者)
- 主 催** フードメッセ in にいがた運営会議・新潟市
(主 管 日本食糧新聞社・(株)新宣・カシヨ(株)・
食と花の世界フォーラム組織委員会)
- そ の 他** 取材をご希望の方は、下記までお問い合わせください。



お問い合わせ先
新潟市食と花の推進課（宮川、外山）
電話：025-226-1841(直通)

来場のご案内

第14回 食の国際総合見本市

フードメッセ in にいがた 2022

2022年11月9日(水)~11日(金)

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター「展示ホール」

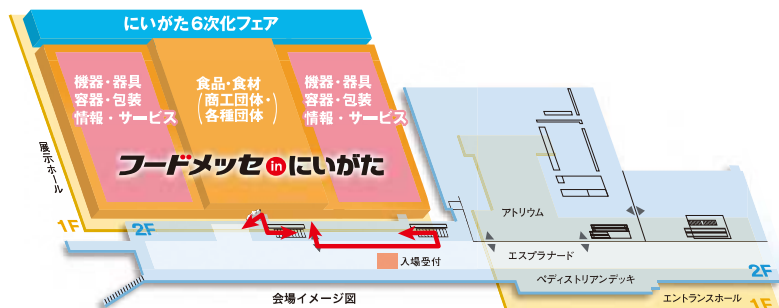
同時開催 第9回 にいがた6次化フェア2022

第7回 6次化大賞 (主催:日本食糧新聞社)

※ 業界向けの商談会です。一般の方はご入場いただけません。

※ 会場へのアクセスはこちらよりご確認ください。 <https://foodmesse.jp/access>

- 主催 / フードメッセ in にいがた運営会議・新潟市
- 主管 / 日本食糧新聞社・(株)新宣・カシヨ(株)・食と花の世界フォーラム組織委員会
- 後援 / 農林水産省、外務省、駐新潟大韓民国総領事館、中華人民共和国駐新潟総領事館、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)新潟貿易情報センター、(株)第四北越銀行、(株)大光銀行、新潟県信用保証協会、(株)日本政策金融公庫新潟支店、(公社)新潟県栄養士会、(一社)全日本司厨士協会新潟県本部、(一社)新潟県商工会議所連合会、新潟県商工会連合会、(一社)新潟県調理師会、新潟市食品衛生協会、新潟市食品衛生指導員協議会、新潟市旅館ホテル協同組合(順不同)
- 特別協賛 / 株式会社ブルボン、亀田製菓株式会社、JAグループ新潟、新潟万代島総合企画株式会社
- 協賛 / 亀田郷土地改良区、新潟食料農業大学、(株)新潟クボタ、一正蒲鉾(株)、JA新潟かがやき、(株)サンプラス三笠、(株)第四北越銀行、(株)大光銀行、新潟観光コンベンション協会、新潟経済同友会、新潟商工会議所、亀田商工会議所、新津商工会議所、新潟薬科大学、新潟信用金庫(順不同)



ご案内状発行元(社名・団体名)

事前来場登録が必要です

事前来場登録はこちらから

フードメッセ 検索



感染拡大防止対策のため公式Webサイトからの事前来場登録が必要となります。

分散来場を推奨しており、登録時にご来場予定日時をお伺いします。

事前来場登録せずこの用紙をお持ちになった場合でも、ご入場前に必ずご登録が必要です。

その場合、会場の混雑状況にりより入場をお待ちいただくことがございます。

スマートフォンをお持ちの方は新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)をインストール・稼働のうえご来場ください。

ご来場の
みなさまへの
お願い



体調不良や発熱がある場合はご来場をお控えください



飛沫防止効果の高いマスク着用での来場をお願いします



会場に設置するアルコール消毒液のご利用をお願いします



ソーシャルディスタンスの確保にご協力ください

フードメッセ in にいがた 2022
運営事務局(日本食糧新聞社内)

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-14-4 ヤブ原ビル6F 日本食糧新聞社 ビジネスサポート本部
TEL.03-3537-1077 (お問い合わせ受付時間 平日9:30~17:30) E-mail contact@foodmesse.jp

地域資源や最先端情報が集う「食の国際総合見本市 フードメッセinにいがた2022」

出展者のカテゴリー

意欲あふれる約360*の出展者が新潟 朱鷺メッセに集結します。 ※2022年9月1日現在

食品・食材

農畜産物から加工食品に至るまで
個性豊かな高付加価値商品をラインナップ

- 地域の風土や伝統を生かした農畜水産品
- 伝統製法や地域資源を活用した加工食品
- 最新技術による製造法で付加価値を加えた加工食品
- SDGsなどのトレンドに配慮した加工食品
- 健康・簡便・時短などのニーズに対応する加工食品 …など

自治体・商工団体・各種団体

キラリと光る地域ブランドが集結

自治体・商工団体・各種団体などが、大都市圏の展示会・商談会ではなかなか出会うことができない、地域の食品・工芸品などの販路開拓支援のため、中小事業者とともに多数出展します。

気になる商品の試飲・試食ができます！

※出展者によっては会場でのご用意ができない場合もあります。

機器・器具

作業の効率化、省人化、生産性向上に、
高まる設備更新、新設ニーズに応えます！

- 自動化・省力化・AI化などを実現する食品製造機械
- 省エネ化・ICT・ロボット化などを実現する店舗用機器
- 省力化・省エネ化・ICTなどを実現する厨房機器
- 業務用に特化した各種調理器具…など

容器・包装/衛生資材

商品開発に欠かせない容器・包装資材と
コロナ禍で注目の衛生資材をご提案します！

- 環境問題に対応したパッケージ、ラッピング用品
- 効率化・省資源化などを実現するシール、ラベル
- テイクアウト需要やSDGs対応のデザイン・機能・素材を使ったトレイ・パック
- 差別化できる素材・機能・デザインの食器・カトラリー
- 必需品の機能性・デザイン性の高い手袋、マスク、消毒・除菌用品 …など

etc. 情報・サービス等

- 食品開発に関わる産学研究
- 食品産業をサポートする情報処理機器
- 店舗施工・インテリア ● コンサルタント
- 販促・ディスプレイ ● 出版 …など



出展者・商品情報の詳細、セミナー情報は公式Webサイトにてご確認ください。

※ご来場いただけないバイヤー様のためにオンラインでの商談を受付ますので事務局までお問合せ下さい。

フードメッセ

検索



セミナーのご案内

11/9水

11:00 ▶ 12:30

新潟県産水産物の魅力：
新潟県に来なければ味わえない魚たち

料理マスターズ倶楽部
事務局長 コーディネーター
高橋 喜幸 氏
割烹 渡辺
店主
渡辺 大生 氏



鮭 登喜和
店主
小林 宏輔 氏



裕漁丸
漁師
山田 裕喜 氏



13:00 ▶ 14:00

コロナの影響で世界と日本の食品
トレンドはどのように変化したか？
～新しい時代における商品開発のヒント～

日本食研ホールディングス株式会社
食未来研究室 室長

児玉 一穂 氏

Innova Market Insights
日本カントリーマネージャー

田中 良介 氏

15:00 ▶ 16:00

米産業の未来を切り拓く、
米の機能性と新規利用技術

新潟薬科大学
特任教授

大坪 研一 氏



11/10木

11:00 ▶ 12:00

食品製造・飲食店・農産6次化の新商品開発
失敗しない冷凍食品づくりで収益UP
～3種類の急速冷凍同時比較できる「体験型テストキッチン」～

フードテック COOK LAB 代表
中静産業株式会社 代表取締役社長

中静 剛 氏



13:00 ▶ 14:00

農・商・工・福の連携による地域創生
～ココトモファームの取り組み事例～

株式会社ココトモファーム
代表取締役

齊藤 秀一 氏



15:00 ▶ 16:00

第7回「6次化大賞」表彰式



グランプリは誰の手に！
注目の各賞受賞者の発表と表彰式を行います。
グランプリ受賞者の商品
にかける熱いプレゼンテーションは必見！

11/11金

11:00 ▶ 12:00

人とふるさとを繋ぐ、地産品を通じた
コミュニケーションの創出

株式会社クーネルワーク
事業推進部プランニングチーム チーフ

鈴木 沙耶 氏



12:30 ▶ 13:30

一次産業と食文化を生かした
楽しい地域活性化

農林水産省北陸農政局
地方参事官(元文化庁食文化参事官)

福井 逸人 氏



14:00 ▶ 15:00

新潟県の園芸品
1次加工事業について

にいがた食と農の加工連携事業協同組合
代表理事

田村 和男 氏



※セミナーの登壇者・タイトルなど変更になる場合もございます。最新情報は公式Webサイトをご覧ください。

聴講
できます！

9日☆終日・10日☆午前
第7回 6次化大賞 エントリー出展者プレゼンテーション

最終審査に残った出展者が、商品づくりに込めた思いをプレゼンテーション。審査委員との質疑も聞くことができ、6次化に取り組む皆様への貴重なチャンスです。

フードメッセinにいがたの「感染拡大防止対策」に対する主な取り組みについて



スタッフの検温、発熱防止薬の正しい服用、手洗い手指消毒の徹底



受付などでの飛沫感染予防対策



事前来場登録による来場者の集中防止対策



会場入口にサーモグラフィの設置



混雑時、入場制限の可能性がございます



会場内におけるソーシャルディスタンス確保のための対策



アルコール消毒液の設置



展示会場内の定期的な消毒を実施



会場内の換気



セミナー会場・商談スペース等の換気対策

展示会開催においては、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」を踏まえ、(一社)日本展示会協会が定めた「展示会業界におけるCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」ならびに、新潟県・新潟市からの最新のガイドラインに準拠して行います。スマートフォンをお持ちの方は新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)をインストール・稼働のうえ、ご来場ください。

第14回 食の国際総合見本市「フードメッセinにいがた2022」会場図

- 凡 例**
- 折り畳みイス (黒) (W470×D465×H730)
 - 展示用机 (W1,800×D450×H700)
 - 深台A (W1,200×D550×H1,100)
 - ペルトインバージョン (基部φ350×H860 ベルト内蔵L=2m)
 - システムハネル (W990×H2,700)
 - 展示ハネル (W1,200×H2,100)
 - クロスハネル (W960×H1,800)
 - 木工ハネル (W920×H2,100)
 - 100Vコンセント
 - プロジェクター
 - 有線マイク
 - ワイヤレスマイク
- (会場設備関係)**
- トイレ
 - 車椅子対応トイレ
 - エスカレーター
 - 階段
 - エレベーター
 - 消火栓
- トラックヤード
- ブースサイズ凡例**
- 一般ブース (機器・専器・その他) 開口3m×奥行3mブース ×180小間
 - 一般ブース (食品) 開口3m×奥行2mブース ×22小間
 - 食品・食料特別ブース 開口3m×奥行2mブース ×162小間
 - 6次化フェア 開口2m×奥行2mブース ×12小間
- 合計376小間

